

長野市公文書館便り

2024
Summer

©Nagano City Archives

●発行日：令和6年（2024年）8月20日

●発行：長野市公文書館

—資料紹介— 松代領柴村に來た高遠領の石工

写真1

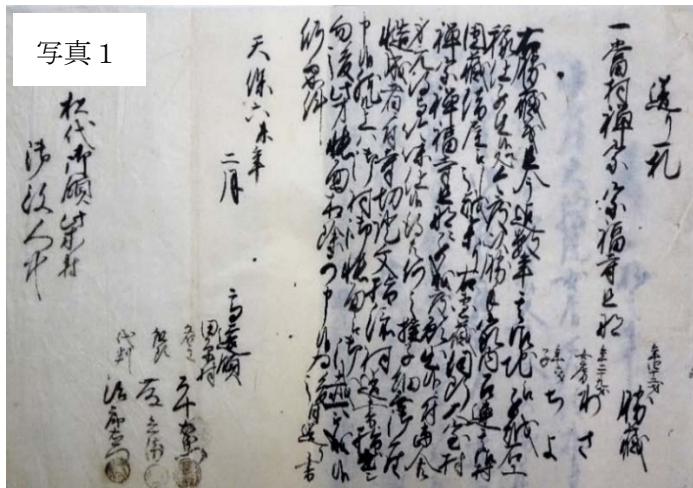


写真1は小林唯見家文書（長野市松代町柴）の古文書資料「送り一札」です。この文書から、天保6年（1835）2月に高遠領田原村（現伊那市）禪宗宗福寺旦那（檀家）の勝蔵が、石工稼をするため柴村（現長野市松代町）の団蔵借家に妻子を連れて引っ越し、近くの大室村（同上）禪宗禪福寺の旦那になりたいと希望していることがわかります。送り出す田原村でも、村役人等3人が連名で勝蔵の身元を保証し、元の寺の檀家から外す証文を出すので、勝蔵家族を大室村禪福寺檀家として柴村の宗門人別帳に載せるように依頼しています。

江戸時代、人々は全て仏教寺院の檀家であることを強制され、切支丹取締りをするために、毎年調査をして宗門人別帳を作りました。奉公・出稼ぎ・婚姻・養子縁組等で他町村へ人の移動があると、旦那寺から移動先寺院に宛て寺送状が出されました。写真1は寺院と併せて村役人宛に出されたものです。寺送状を受けた側では受領の寺請状を出しました。

寺送状・寺請状が551点（享保18年～明治3年）も多く残されていることが、小林唯見家文書の特色の一つで、これは様々な研究の可能性を含んでいます。それらの中で高遠領からの石工稼寺送状が多いことが注目されます。小林家には安政7年（1860）2月まで石工稼寺送状が31点あり、内28点が高遠領からのものです（他の

3点は越後国頸城郡1と下野国都賀郡2）。その初出は文政5年（1822）2月のもので、写真1で紹介した勝蔵についての送り一札と思われます。この時勝蔵は独身で、「もし病死等^{つかまつ}仕^{そうろう}り候^{おんむらかた}とも、その御村方の御作法をもって御執^{おと}りはからいくださるべく^{そうろう}候^{おきほう}」（読み下し文）と書かれています。

柴村に高遠の石工が来ていたことは、山本勘助供養塔が元文4年（1739）に高遠石工間口武助根吉⁽¹⁾によって作られたことでわかります（『長野市誌』第4巻P635）。高遠石工は手掛けたものに「高遠石工何某」と名を刻む者が多かったようですが、柴周辺ではこうした例はあまり見られません。南信で石仏を作って有名だった高遠領^{おきふじ}村出身の貞治という者もいますが、北信には貞治と刻まれた石造物はほとんど見られず、柴との関係は薄そうです。では、なぜ小林唯見家文書の中に、28点もの高遠領からの石工稼寺送状が残されているのでしょうか。

江戸時代後期になると、庶民の間でも木の墓標から墓石（比較的小型で当初は船底型や直方型）が作られるようになります。さらに寺社参道の踏石や階段、境内の灯籠、供養塔などが作られ、石の需要が増えたと思われます。これらの石に使われたのが、柴石^{しばいし}でした。

柴村は長野の東南部千曲川沿いの村ですが、集落に接する金井山^{かないやま}から、柴石と呼ばれる火成岩が取れました。淡灰色なので「白石」とも呼ばれました。昭和半ば頃までは、家の基礎や土手・河川等の石積み、墓石等によく使われていましたが、現在では、建築面で耐震性の問題、土木技術・材料の発達等がある、ひと頃のような需要は見られなくなっています。長野から離れた高遠からも石工が出稼ぎに来るほど、江戸時代には柴石の名が知られていたということでしょうか。

注

(1) 高遠石工名の口は解読不明文字を表します。

市内中学生職場体験

7 月上旬（期日については下記「日々是文書」参照）、市内 3 校の中学生（2 学年）が当館にて 1 日の日程で職場体験に参加しました。体験の様子を写真も交えて

以下に紹介します。



【仕事の紹介】説明を聞いて、「その地に生きた人たちの証拠を 200 年後まで残したい」という職員の願いに感動する声が聞かれました。



【館内見学】最近テレビで放映されるバックヤードの見学です。途中、「お宝鑑定団みたい」とのつぶやきも。古い資料に心ワクワク。



【公文書等利用体験】自ら四百年前の古文書の閲覧申請をし、書庫にてそれを探し出します。本物を手にとる体験です。

【古文書解読体験】「諸商売人出がらくらべすもう世競相撲」に記載された商売を読み解く。本物の古文書にも触れ、「古文書解読は難しかったけど、いくつかの発見があり楽しかった」との感想がありました。



日々是文書

～スタッフ通信～

【新たな資料公開】

「柳原村役場 2」2 点

「西澤郁夫家文書」2,693 点

「北島書店文書」69 点

【活動記録】

5/16・17 市役所非現用文書移管

5/30 県史料協総会・文献史料保存活用講習会（須坂市文書館）

6/4 西之門よしのや藤井家文書搬入

6/18 長野市立清野小学校資料調査

7/2・3 中学生職場体験（櫻ヶ岡中学校生徒参加）

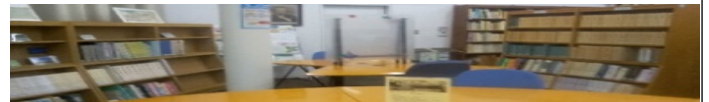
7/4 中学生職場体験（三陽中学校生徒参加）

7/11 中学生職場体験（犀陵中学校生徒参加）

【今後の予定】（詳細については後日お知らせいたします）

10/27（日）令和 6 年度長野市公文書館講演会

11/13（水）～11/17（日）館外展示（長野駅ビル 3 階）



長野市公文書館

所在地 〒380-0928 長野市若里六丁目 6-2 長野市若里分室内

電話 026-224-0701 F A X 026-224-0702

HomePage <https://www.city.nagano.nagano.jp/kobunsho/index.html>

又は **長野市公文書館** で検索

E-mail kobun@city.nagano.lg.jp

開館時間 午前 9 時から午後 5 時（閲覧申込みは午後 4 時 30 分まで）

休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日
年末年始（12月29日～1月3日）

こんなときにはご相談ください。

- ・古い土蔵などを取り壊すので、所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ・所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。